

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市左京老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施

2 事業実施内容

- （１）指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
- サービス提供（デイサービスの基本業務）
 - ・食事、入浴、機能訓練、認知症予防プログラム、レクリエーション、送迎、相談業務などの提供
 - ・ケアプランおよび通所介護計画に基づき、利用者の自立支援を目標としたサービスの提供
 - ・個別機能訓練計画に基づく、心身機能の維持・向上を目的とした個別機能訓練の実施
 - ・多様なレクリエーションや趣味活動を全体または小グループで実施し、心身機能の向上や生活の活性化を図る支援プログラム（個別機能訓練）の提供
 - 相談援助・地域連携
 - ・利用者個々の相談援助および関係機関との連携
 - ・地域包括支援センター、医療機関、サービス事業者との連携
 - ・地域ケア会議への参加
 - 認知症支援
 - ・認知症高齢者の積極的な受け入れ
 - ・区社協と協働した「おれんじサロンさきょう」の運営協力
 - 地域交流・ボランティア受け入れ
 - ・地域ボランティアの受け入れ
 - ・中学生の「生き方探究チャレンジ体験」やボランティア実習の受け入れ
 - ・大学生の介護等体験実習の受け入れ
 - ・児童館等との世代間交流
 - ・チャレンジ就労体験者の受け入れ
 - ・支援学校の実習および就労支援授業の実習者の受け入れ
 - ・専門職養成校等、教育機関との連携・実習受け入れ
 - サービス向上の取り組み
 - ・利用者アンケートの実施と情報公表
 - ・職員に対する法人研修および外部研修への積極的参加
- （２）指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）
- 居宅介護支援
- ・月～土曜日
- 自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

- 【職員体制】
- ・管理者 1 名
 - ・生活相談員 1 名
 - ・介護職員 13 名
 - ・看護職員 7 名（機能訓練指導員兼務）
 - ・調理員 5 名
 - ・運転手 3 名
 - ・介護支援専門員 4 名
- 再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積り合わせ行っています。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)延べ利用者数（実績値）

①令和7年度実績値	8,410	人
②令和8年度目標値	8,550	人

(2)実利用者数（実績値）

①令和7年度実績値	1,051	件
②令和8年度目標値	1,070	件

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	86,772,652
利用料収入	6,181,988
委託料収入	0
補助金収入	924,306
寄付金収入	0
雑収入	450,082
その他	1,847,356
収入計	96,176,384

令和7年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	79,392,781
事業費	13,601,321
委託費	0
小額修繕費	0
その他	15,130,261
支出計	108,124,363

イ 企画提案業務I（居宅介護支援

介護保険収入	27,963,269
利用料収入	
委託料収入	
補助金収入	42,000
雑収入	
その他	1,818
収入計	28,007,087

） 令和7年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	20,006,272
事業費	1,966
委託費	
その他	1,021,948
支出計	21,030,186

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和7年1月にユーザーアンケート（利用者と家族のご意見が反映できるサービス全般に関するアンケート）を実施。回収したアンケートは集計のうえ所内会議で共有し、職員間で結果と課題を確認した。また、ご利用者およびご家族には、アンケート結果と各質問への回答内容をまとめた書面を配布し、情報提供を行った。

(2) 利用者満足度把握の結果

配布数84件、回収数56件（回収率66.6%）

主な項目

送迎	: 満足 77%	ほぼ満足 21%	やや不満 2%	不満 0%	無記入 0%
入浴	: 満足 55%	ほぼ満足 30%	やや不満 4%	不満 2%	無記入 9%
食事	: 満足 59%	ほぼ満足 37%	やや不満 2%	不満 2%	無記入 0%
レクリエーション	: 満足 45%	ほぼ満足 46%	やや不満 7%	不満 0%	無記入 2%
個別機能訓練	: 満足 45%	ほぼ満足 43%	やや不満 7%	不満 2%	無記入 3%
プライバシーへの配慮	: 満足 62%	ほぼ満足 36%	やや不満 2%	不満 0%	無記入 0%
要望や相談への対応	: 満足 73%	ほぼ満足 25%	やや不満 2%	不満 0%	無記入 0%
センターの環境	: 満足 68%	ほぼ満足 29%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 3%
利用効果	: 満足 64%	ほぼ満足 32%	やや不満 2%	不満 0%	無記入 2%
総合的満足度	: 満足 77%	ほぼ満足 21%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 2%

(3) 意見等への主な対応状況

ユーザーアンケートについては、回収後に集計を行い、利用者から寄せられた意見に対する回答や改善点を整理した書面を作成し、利用者全員へ配布した。所内でもアンケート結果を共有し、食事、入浴、送迎、レクリエーション等について、利用者の要望に応じた改善策の検討を行った。また、ケース検討や業務改善会議での法令研修と関連づけながら、接遇やプライバシー保護など、サービスの質の向上に向けた職員の意識づけにも取り組んでいる。

7 その他特記事項

(1)

事業所の理念および専門職としての倫理を常に意識し、サービスの質にこだわりながら、利用者や家族に真摯に向き合う姿勢を職員間で共有している。日々の業務においても、より良い支援を提供できるよう研鑽を重ね、専門職としての資質向上に努めている。また、ケース検討会議やサービス向上委員会を通じて、利用者支援の在り方やサービスの質に関する課題を継続的に検討し、改善につながる取り組みを組織的に進めている。これらの会議を通じて、具体的な改善策を導き出し、事業所全体として質の高いサービス提供を維持・向上させる体制を整えている。

(2)

8 評価（指定管理者自己評価）

令和7年度においても、事業所理念に基づいた職務遂行を職員全体で共有し、専門職としての資質向上を意識しながら事業運営に取り組んできた。その結果、多くの利用者に継続して利用していただくことができ、前年度に引き続き安定した事業運営につながった。

機能訓練やレクリエーションについては、利用者の希望を踏まえつつ、意欲の向上や心身機能の維持につながる内容を検討し、実施してきた。利用者が主体的に参加できるプログラムの工夫にも努め、サービスの質の向上を図った。

また、サービス向上委員会や事故再発防止委員会を定期的開催し、職員全体で課題の共有と改善策の検討を行う体制を維持した。アンケート結果や苦情等についても丁寧に振り返り、利用者・家族からの意見を具体的な改善につなげることを重視し、抽象的な表現にとどまらない実効性のある取り組みを模索してきた。

所内研修については、定期的実施し、サービスの固定化や思考の停滞を防ぐことを意識した。風通しのよい職場環境づくりを念頭に、職員が意見を出し合える雰囲気醸成にも努めた。

利用調整においては、要支援・要介護の区分や重症度にとらわれず、利用者ニーズと事業所の機能との適合性を丁寧に判断し、可能な限り受け入れを行ってきた。地域で暮らし続けられるよう支援することを使命と捉え、安心・安全なサービス提供を継続してきた。

地域との連携については、関係機関との協働や地域事業への参加を継続し、地域住民との交流を深めることで、地域福祉の拠点としての役割を果たせるよう努めてきた。今後も地域に根ざした事業所として、より一層の連携強化を図っていく。